

令和元年度  
事業報告書

# 令和元年度事業報告

## I 組織と運営の状況

### 1. 会議等に関する事項

#### 幹事会・運営委員会・監査会

開催日	会議名	会場	主な内容
令和元年 5月30日	第215回 幹事会	埼玉教育会館	・平成30年度事業報告並びに決算報告に関する件
令和元年 11月29日	第216回 幹事会	埼玉教育会館	・令和元年度上半期事業報告並びに上半期決算報告に関する件
令和2年 3月17日	第217回 幹事会	埼玉教育会館	・平成31年度補正予算案の承認に関する件 ・令和2年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・運営委員の選出に関する件
令和元年 5月27日	第125回 運営委員会	埼玉教育会館	・平成30年度事業報告並びに決算報告に関する件 ・監査の選任に関する件
令和元年 11月18日	第126回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和元年度上半期事業報告並びに決算報告の承認に関する件
令和2年 3月10日	第127回 運営委員会	埼玉教育会館	・平成31年度補正予算案の承認に関する件 ・令和2年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・幹事・監査の選任に関する件
令和元年 5月21日	監査会	埼玉教育会館	・平成30年度事業報告並びに決算報告に関する件
令和元年 10月31日	監査会	埼玉教育会館	・令和元年度上半期事業報告並びに上半期決算報告に関する件

### 2. 教育振興事業選考委員会について

奨学金の貸与・給付及び研究・実践活動への助成等教育振興事業の適正な執行を図るため、委員会において、必要な事項について審査・選考を行いました。

資料 1 「令和元年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿」

開催日	会議名	会場	主な内容
令和元年 5月13日	第1回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	令和元年度上期奨学金貸与者の審査・選考
令和元年 6月24日	第2回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	令和元年度教育振興事業及び教育文化事業の審査・選考
令和元年 7月24日	第3回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	令和元年度高校生の奨学金給付事業の審査・選考
令和2年 3月16日	第4回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	令和元年度下期奨学金貸与者の審査・選考 令和元年度高校生及び中学生奨学金給付事業の審査・選考

## II 教育振興事業

### 1. 奨学事業

#### (1) 貸与事業（4月～3月）

大学等に進学する県内在住者に奨学資金として100万円まで無利息で貸与し、卒業後5年以内、(ただし貸与金が100万円の場合は7年以内)の年賦で返還する奨学事業を下記のとおり行いました。

貸与を希望する適格者全員に貸与いたしました。

(貸与奨学金事業は、日教弘本部の事業ですので、決算書には記載しておりません)

① 貸与の状況

		前年度末貸与	当年度貸与	当年度返還	年度末貸与者
令和元年度	人数	370名	43名	完済 65名	348名
	金額	239,682,473円	34,250,000円	44,082,644円	229,849,829円
平成30年度	人数	430名	36名	完済 96名	370名
	金額	259,617,219円	31,800,000円	51,734,746円	239,682,473円

② 奨学生の学校種別状況

年度	令和元年度		平成30年度	
学校種別	人数	金額	人数	金額
大学	37名	30,750,000円	35名	31,300,000円
その他	6名	3,500,000円	1名	500,000円
合計	43名	34,250,000円	36名	31,800,000円

(2) 給付事業 (4月～3月)

給付奨学金事業

本県に所在する国公立高等学校・中学校に在学する生徒で、原則として以下のア、イ、ウ、に該当する者に、選考のうえ返還を要しない奨学金を給付しました。

ア、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または、②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援を受けているが、生活が困窮している家庭の子どもで、修学の意欲が旺盛で、高等学校等へ進学する中学3年生のうち校長から推薦のあった者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人5万円ずつ326名に1,630万円を給付しました。

年度	令和元年度	平成30年度
人数	326名	313名
金額	16,300,000円	15,650,000円

イ、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または、②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援等を受けているが、生活困窮のために修学への意欲があるにもかかわらず、修学継続が困難となっている高等学校第2、3学年(定時制・通信制については相当学年)の生徒のうち校長から推薦のあった者を対象としました。特別支援学校にあっては、上記の学校に準ずる者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人10万円ずつ91名に910万円を給付しました。

年度	令和元年度	平成30年度
人数	91名	85名
金額	9,100,000円	8,500,000円

ウ、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援等を受けているが、修学意欲が旺盛で、更に上級学校(国公立大学・短期大学・専修学校専門課程)へ進学する成績優秀な(評定平均値 3.8 以上)高等学校第 3 学年(定時制・通信制については相当学年)の生徒のうち、校長から推薦のあった者を対象としました。特別支援学校にあっては、上記の学校に準ずる者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人 20 万円ずつ 91 名に 1,820 万円を給付しました。

年度	令和元年度	平成 30 年度
人数	91 名	90 名
金額	18,200,000 円	18,000,000 円

## 2. 教育研究助成事業

学校教育の充実・発展に寄与するため、以下の事業を行いました。

### (1) 教育実践報告への助成

教育に関する実践報告を、県内の学校・教育機関の個人(グループを含む)または学校を対象として募集し、支部長が委嘱する「教育実践報告審査委員会」で審査・選考のうえ、優れたものに助成金を贈り表彰しました。

#### ① 募集と審査

ア 2019 年 4 月 1 日付け文書及び教弘会報埼玉等による広報

イ 資料 2 「令和元年度 教育実践報告審査委員会 委員名簿」

開催日	会議名	会場	主な内容
令和元年 9 月 11 日	第 1 回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和元年度教育実践報告審査及び選考方法について
令和元年 10 月 11 日	第 2 回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和元年度教育実践報告審査・選考
令和元年 11 月 27 日	教育実践報告・表彰式	埼玉県県民健康センター	令和元年度教育実践報告受賞者表彰式

#### ② 応募状況

年度	学校種別					
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
個人 (グループ含む)	25	11	7	12	0	55
学校	5	2	1	1	0	9
合計	30	13	8	13	0	64

#### ③ 助成状況

※助成件数 58 件 助成金額 1,776,850 円

以下(2)～(8)・(12)～(14)・(18)の事業は、申請された学校・研究会等について、「教育振興事業選考委員会」で審査・選考のうえ、助成金を贈りました。

ア 2019 年 4 月 1 日付け文書による広報

イ 資料 1 「令和元年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿」

ウ 研究・実践に関する成果報告書・資料の提出を求めました。

## (2) 学校研究への助成

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和元年度	570	253	29	8	8	868	3,536 万円
平成 30 年度	532	266	20	11	10	839	3,411 万円

## (3) 環境教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和元年度	386	137	6	1	12	542	1,694 万円
平成 30 年度	401	135	8	1	10	555	1,741 万円

## (4) 国際理解教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和元年度	59	22	24	2	0	107	336 万円
平成 30 年度	59	20	28	0	0	107	336 万円

## (5) キャリア教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和元年度	26	77	20	4	0	127	400 万円
平成 30 年度	29	74	19	7	0	129	406 万円

## (6) 防災教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和元年度	83	40	2	4	1	130	403 万円
平成 30 年度	67	42	7	3	1	120	385 万円

## (7) ICT 活用教育支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和元年度	109	35	10	13	0	167	528 万円
平成 30 年度	80	21	10	9	0	120	391 万円

## (8) 「学び合い・高め合い」支援事業

助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和元年度	466	214	11	8	0	699	2,150 万円
平成 30 年度	347	178	13	6	0	544	1,682 万円

## (9) 研究・実践成果報告集 8 の刊行

教育研究助成事業の助成対象校(学校研究・環境教育・国際理解教育・キャリア教育・防災教育・ICT 活用教育・「学び合い・高め合い」支援)の優れた研究・実践をまとめ、学校・教育機関等に配付し教育の振興に寄与しました。

## (10) 交通安全教育への助成

児童・生徒の交通安全教育の推進に貢献するため「弘済会埼玉交通安全推進会」へ 10 万円の助成を行いました。

## (11) 新設校への助成 (助成は株式会社 埼玉教弘)

令和元年度新設校、さいたま市立美園北小学校、さいたま市立美園南中学校、さいたま市立大宮国際中等教育学校、奥武蔵創造学園(飯能市立奥武蔵小学校・奥武蔵中学校)、春日部市立江戸川小中学校、春日部市立春日部南中学校に記念品を贈呈しました。

## (12) 連合教育研究会等への助成

助成状況

令和元年度	47 団体	755 万円
平成 30 年度	47 団体	755 万円

## (13) 全国・関東ブロック研究大会への助成

助成状況

令和元年度	9 団体	108 万円
平成 30 年度	5 団体	57 万円

#### (14) 教育関係団体への助成

##### 助成状況

令和元年度	29 団体	648 万円
平成 30 年度	27 団体	640 万円

##### 教育関係助成団体一覧

No.	団 体 名	No.	団 体 名
1	埼玉県公立小学校校長会	16	埼玉県高等学校定時制通信制副校長・教頭会
2	埼玉県中学校長会	17	埼玉県事務主幹・事務主査会
3	埼玉県高等学校長協会	18	埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会
4	埼玉県公立小中学校教頭会	19	埼玉県養護教諭会
5	埼玉県高等学校等副校長・教頭会	20	埼玉県学校保健主事会
6	埼玉県公立高等学校事務職員会	21	埼玉県特別支援学級等設置校校長会
7	埼玉県公立小・中学校女性校長会	22	埼玉県学校栄養士研究会
8	埼玉県公立小・中学校女性教頭会	23	埼玉県高等学校等女性管理職の会
9	埼玉県特別支援学校校長会	24	埼玉教職員組合
10	埼玉県公立学校事務長会	25	埼玉高等学校教職員組合
11	さいたま市中学校長会	26	さいたま教育文化研究所
12	埼玉県特別支援学校副校長・教頭会	27	埼玉県国公立幼稚園・こども園長会
13	埼玉県教職員組合	28	埼玉県都市教育長協議会
14	埼玉県高等学校教職員組合	29	埼玉県町村教育長会
15	埼玉県高等学校定時制通信制校長会		

#### (15) 教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会の開催

埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県都市教育長協議会及び埼玉県町村教育長会の後援の下、埼玉県教育の充実・発展に寄与することを目的として教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会を開催しました。

- 期 日 令和元年 10 月 23 日(水)
- 会 場 埼玉会館 大ホール
- 講 演 「天下人に学ぶタイプ別組織運営」
- 講 師 静岡大学名誉教授・文学博士 小和田哲男 氏

#### (16) 公益財団法人日本教育公務員弘済会の「日教弘教育賞」募集へ協力して、研究実践論文 3 編を推薦しました。

#### (17) 公益財団法人東京海上日動教育振興基金の教育研究論文募集へ協力しました。

#### (18) 「はばたき」応援プロジェクトの実施(令和元年度新規事業)

小学校 6 年生の卒業に向けた特色ある取組等の支援として、85 校に総額 255 万円を助成しました。

### 3. 教育文化事業

#### (1) 生涯学習実践作文の募集

テーマ 生涯学習の実践 ～私と地域とのかかわり～

募集 募集案内の県内教育機関等への配布及びHP等での広報 応募 31 点

審査 資料 3「令和元年度 生涯学習実践作文審査委員会 委員名簿」

開催日	会議名	会場	主な内容
令和元年 9月4日	第1回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和元年度生涯学習実践作文審査及び選考方法について
令和元年 10月8日	第2回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和元年度生涯学習実践作文審査・選考
令和元年 11月27日	生涯学習実践作文表彰式	埼玉県県民健康センター	令和元年度生涯学習実践作文表彰

#### 応募・助成状況

応募数	助成数	助成金額
31	16	446,370 円

(2)・(3)は、資料 1「令和元年度教育振興事業選考委員会」で審査・選考のうえ、助成しました。研究・実践に関する成果報告書・資料の提出を求めました。

#### (2) 教育文化講演会(地域教育研究会主催)に対する助成

令和元年度	12 団体	156 万円
平成 30 年度	16 団体	183 万円

#### (3) 教育文化事業並びに「弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフル コンサート」への助成

令和元年度	35 団体	646 万円
平成 30 年度	38 団体	659 万円

#### (4) 教弘文庫の刊行と配布

平成 30 年度募集した「教育実践報告」「生涯学習実践作文」から優れた実践報告・実践作文並びに地域教育研究会等が実施した「教育文化講演会」の講演要旨を集録した教弘文庫を刊行し、各学校・教育機関等へ贈呈いたしました。

	刊行部数	刊行日
教弘文庫 107 「教育実践報告集 50」	2,200 部	4 月 26 日
教弘文庫 108 「教育文化講演集 35」	4,000 部	4 月 26 日
教弘文庫 109 「生涯学習実践作文集 29」 私の生き方 ～ともに取り組む実践～	16,000 部	4 月 26 日

### Ⅲ 福祉事業

#### 1. 福利厚生

##### (1) 厚生施設利用の促進



- ① 紀州鉄道・リステル・東急ハーヴェストクラブの法人会員権に基づく利用券を効率的に活用します。特に、利用者の多い夏季休業中、東急リゾートサービスと契約し、施設の部屋を専用に利用できるようにし、希望者の要望に応えました。
- ② 宿泊等福利厚生施設の広報に努め、利用の促進を図りました。
- ③ 今後、生涯福祉の立場から、福祉事業に関わる施設についての研究を一層進めます。

宿泊施設の利用状況(4月～3月)

施設名	元年度	30年度	増減	施設名	元年度	30年度	増減
伊豆山	2	8	△ 6	箱根強羅	4	11	△ 7
一碧湖	14	34	△ 20	日本橋	0	0	0
中伊豆	0	10	△ 10	名古屋	0	0	0
房総白浜	73	81	△ 8	博多	0	0	0
裏磐梯	0	0	0	大阪梅田	0	0	0
猪苗代	37	52	△ 15	那須塩原	103	104	△ 1
浜名湖	5	6	△ 1	八ヶ岳	2	20	△ 18
草津温泉	0	23	△ 23	淡路島	2	0	2
軽井沢	57	51	6	ルヴェール箱根強羅	31	3	28
信州塩嶺	9	7	2	東急那須	129	134	△ 5
琵琶湖	15	0	15	◎東急旧軽井沢	58	66	△ 8
伊勢鳥羽	10	8	2	◎東急蓼科	57	68	△ 11
鳴子	0	15	△ 15	◎東急裏磐梯	42	51	△ 9
南紀白浜	0	2	△ 2	◎東急伊東	56	70	△ 14
米子皆生	0	0	0	◎東急那須	56	68	△ 12
江ノ島	11	5	6	合計	773	897	△ 124

※ 特に、夏季休業中、◎印5施設 延 70室を借り切り、教職員の利用に供しました。

(2) 宿泊施設等の利用と補助

広報誌等を通して協定している旅館・民宿等の利用促進に努めました。

① 旅館・ホテル利用人数(4月～3月)

所在地	名称	令和元年度			平成30年度		
		本人	家族	合計	本人	家族	合計
新潟	グリーンピア津南	19	4	23	16	11	27
	吉野屋	1	1	2	0	0	0
	高半ホテル	16	0	16	6	3	9
福島	ホテルうお昭	3	0	3	4	0	4
	ホテル飛天	3	1	4	0	0	0
栃木	明賀屋	0	0	0	2	0	2
	柏屋	3	0	3	9	0	9
群馬	松本楼	4	27	31	22	26	48
	栄泉閣	0	0	0	0	0	0
	ホテル聚楽	18	8	26	23	15	38
	妙義グリーンホテル	97	23	120	93	28	121
茨城	磯原シーサイドホテル	1	3	4	8	4	12
長野	荻原館	3	2	5	4	1	5
	(小計)	168	69	237	187	88	275

② 民宿・ペンション等利用人数（4月～3月）

所在地	名称	令和元年度			平成30年度		
		本人	家族	合計	本人	家族	合計
埼玉	はまだ	8	0	8	15	4	19
	宮本荘	8	0	8	8	2	10
群馬	ツツミスクエア	4	4	8	0	0	0
新潟	たきもと	15	18	33	8	8	16
	でんき屋	4	0	4	19	3	22
長野	ラディッシュガーデン	1	1	2	2	0	2
	コンパス	12	0	12	13	1	14
	ぴー坊	0	0	0	3	1	4
	リスの森	4	0	4	0	0	0
	GROVE	10	0	10	0	0	0
千葉	千倉民宿	0	0	0	1	0	1
オートキャンプ場		37	79	116	28	43	71
(小計)		103	102	205	97	62	159
日教弘指定施設		119	41	160	129	40	169
総合計		390	212	602	413	190	603

③ 補助人数（4月～3月）

金額		年度	
		令和元年度 人数	平成30年度 人数
教弘保険加入者	3,000円	390名	399名
損保単独者	3,000円※1		6名※3
教弘・損保併用者	3,000円※2		8名※4
合計		390名	413名

※1 平成30年度から記念品贈呈に変更する。

※2 平成30年度から3,000円及び記念品贈呈に変更する。

※3 従来基準で3,000円を補助した。

※4 従来基準で6,000円を補助した。

補助額 1,170,000円

2. 生涯福祉推進事業

- (1) 校長会代表と弘済会との「教職員の生涯福祉を考える教育懇談会」を7月22日(月)、埼玉教育会館に於いて開催しました。(経費は株式会社 埼玉教弘)

演題：教職員の皆様のための「生涯生活設計講座」

～豊かな人生のためのできること -将来と今について-

講師：ジブラルタ生命保険株式会社 関東営業本部チーフインストラクター 藤貫英司氏

- (2) 介護福祉施設(株ウイズネット)の紹介事業を行いました。

### 3. 祝品・記念品の贈呈

- (1) 教弘保険継続者への記念品の贈呈 (図書カード) (助成は株式会社 埼玉教弘)  
教弘保険継続者(5年・10年・15年・20年・25年・30年)に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

人数	5年	10年	15年	20年	25年	30年	合計
元年度	1,178	893	446	249	311	254	3,331名
30年度	1,155	826	325	258	452	308	3,324名

贈呈額 6,562,070円

- (2) 友の会入会記念品の贈呈 (商品券) (助成は株式会社 埼玉教弘)

退職後、教弘保険料の支払方法変更手続きをされた教弘保険加入者に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	令和元年度	平成30年度
人数	1,100名	1,170名

贈呈額 3,300,000円

- (3) 結婚祝品の贈呈 (商品券)

結婚された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	令和元年度	平成30年度
人数	581名	568名

贈呈額 2,905,000円

- (4) 出産祝品の贈呈 (図書カード)

お子さんが誕生された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

年度	令和元年度	平成30年度
人数	812名	799名

贈呈額 2,399,460円

- (5) スポーツ観戦チケットの贈呈

現職の教弘保険加入者(10口以上)に浦和レッズ、公式試合観戦チケット(SS席を各試合1ペア分)及びプロ野球埼玉西武ライオンズ主催公式戦チケット引換券(2枚一組)を申込抽選により贈呈しました。

① サッカー

申込人数 294名の内 17名

贈呈額 264,600円

② プロ野球

申込人数 76名の内 30名

贈呈額 129,600円

#### 4. 健康保持増進

##### (1) 人間ドック受診者への補助

###### ①現職教弘保険加入者

公立学校共済組合等で実施する人間ドック・婦人科検診または脳ドックを受診した教弘保険加入者にはその1種類(年度内1回)について、個人負担金の一部を基準により補助しました。

補助人数

年度 金額	令和元年度	平成30年度
	人数	人数
5,000円	4,134名	4,445名
3,000円	1,789名	1,916名
2,000円	101名	104名
その他	277名	225名
合計	6,301名	6,690名

###### ②退職教弘保険加入者(友の会会員)

友の会会員で生活習慣病予防巡回健康診断の補助を受けていない人が、人間ドックまたは脳ドックを受診したときに、年度内で1回に限り、5,000円の補助を行いました。

補助人数

年度	令和元年度	平成30年度
人数	2,459名	2,318名

① + ②補助額 39,297,880円

##### (2) 生活習慣病予防巡回健康診断の実施及び補助

退職教弘保険加入者の生活習慣病予防のため、県下14会場において健康診断を実施し、受診者には費用14,688円(税込)のところ5,000円の補助を行いました。

年度	令和元年度	平成30年度
人数	852名	894名

補助額 3,890,000円

##### (3) 大腸がん予防検診の実施

退職教弘保険加入者とその家族を対象に一般財団法人日本健康増進財団の検診案内を送付し、468人が受診しました。

(協定料金 2,800円)

##### (4) ウオーキング(歩け歩け)運動への参加支援

当支部が埼玉県ウオーキング協会の賛助会員となり、教職員の歩け歩け運動への参加による健康づくりを支援しました。

## 5. 弘済会埼玉友の会活動の推進

高齢化社会にあつて、退職後の生活設計は一層重要となっています。退職後をどう生きるか、どのような生き甲斐を見つけるか、共に考え、活動してきました。

### (1) 組織

退職後も継続した教弘保険加入者で組織し、本部と支部が一体となって活動を進めています。

令和2年4月現在、14支部、832班、(世話人727人)、会員14,390人です。うち、準会員は306人です。

### (2) 運営

全県世話人会、幹事会、支部総会等を次のとおり計画的に行いました。

支部組織の運営充実のため、14支部へ支部運営費助成金として2,665,960円、支部総会助成金として98万円、友の会だより配布助成金として2,666,238円、クラブ活動補助金として12万円の助成を行いました。

開催日	会議名	場所
令和元年5月17日	全県世話人会	大宮ソニックシティ
令和元年7月23日	幹事会	埼玉教育会館
令和2年1月23日	常任幹事会	埼玉教育会館
令和元年6月6日	北足立南支部総会	ジブラルタ生命川口営業所
令和元年6月5日	北足立中支部総会	埼玉教育会館
令和元年5月25日	大宮支部総会	さいたま市高鼻コミュニティセンター
令和元年6月5日	北足立北支部総会	吹上生涯学習センター
令和元年6月1日	入間東支部総会	クラッセ川越
令和元年6月6日	入間西支部総会	飯能市富士見地区行政センター
令和元年6月3日	比企支部総会	東松山市松山市民活動センター
令和元年5月25日	秩父支部総会	秩父市福祉女性会館
令和元年6月1日	児玉支部総会	本庄市民文化会館
令和元年6月9日	大里東支部総会	熊谷市立江南総合文化会館(ピピア)
令和元年5月18日	大里西支部総会	深谷市男女共同参画推進センター
令和元年6月5日	北埼玉支部総会	ワークヒルズ羽生
令和元年6月6日	埼玉葛南支部総会	春日部市民文化会館
令和元年6月5日	埼玉葛北支部総会	久喜市鷲宮東コミュニティセンター

### (3) 事業・活動

前述の福利厚生事業を中心に、友の会会員のための福祉活動を行いました。

弘済会埼玉友の会だよりNo.63、No.64を発行し、広報活動をすすめました。

## 6. 弔慰金

死亡された教弘保険加入者194名の方へ生花と弔電またはご香料を贈ることにより弔慰を表しました。

支給額 2,104,900円

## 7. (株)ツヴァイとの提携による結婚紹介

(株)ツヴァイと法人契約を結び、弘済会会員及びその家族が入会するときに、入会時初期費用が55,000円割引となります。

令和元年度末現在692名(累計)の方が入会され、300の方が成婚に至っています。

当支部には加入者の性別・年代のみ通知されることとなっており、加入者のプライバシーは厳重に守られています。

## 8. 損害保険事業

教職員にとって必要かつ有意義な補償である下記保険の販売に努めました。

- ・教弘まなびやスーパープラン
- ・教弘フルガード
- ・教職員収入ロングウェイサポート

## IV 共済事業（提携保険事業）

教弘保険の普及拡大が、教育の振興及び教育関係者の福祉向上に多大な貢献をしていることを踏まえ、その加入促進に努めました。

なお、業務は、提携保険会社及び株式会社埼玉教弘に委託しています。

## V 参事の活動

15名の参事が地区を分担し、学校や地区校長会等において、弘済会の諸事業やジブラルタ生命の状況を説明し、弘済会及びその事業に対する教職員の理解と支持を得るよう努力しています。またジブラルタ生命との相互の協力体制の確立を目指して、ジブラルタ生命教弘担当営業職員(LC)の活動しやすい環境づくりに向けて努力を続けてきました。

年間で学校での事業説明会を603回、校長会等で157回、延べ760回実施し、説明・広報活動を行いました。

また、教育研究助成金決定通知書の伝達などにより、弘済会への理解と、LCの支援に努めてきました。

概ね毎月1回参事打合せを行い、弘済会の事業周知・教弘保険拡大・学校の状況・ジブラルタ生命各営業所の現況認識等について協議・研修してきました。

## VI 広報活動

(公財)日教弘埼玉支部の事業の発展を目指し、「教弘会報埼玉」を発行し、教育的な共感をよぶ記事を中心に、事業内容を幅広く紹介し、教弘保険加入者の一層の拡大を図る広報活動を推進しました。

令和元年度の広報活動は次の通りです。

### 1. 編集方針

- (1) 弘済会の事業の発展を目的とする。
- (2) 弘済会の事業内容を幅広く具体的に紹介する。
- (3) 生き生きとした教育に関する記事の掲載に努める。
- (4) 多くの教職員の記事を掲載し、親しみのもてる紙面づくりに努める。
- (5) 必要に応じて「教弘会報埼玉」の号外を発行する。
- (6) モニターの一層の活用を図る。

## 2.作成広報物

### (1)「教弘会報埼玉」 定期刊行物

号数	発行日 (部数)	主 な 内 容	
237	4月22日 (54,500)	支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	「回路」と「絆」を創る 春日部市立東中学校 平成31年(2019)度弘済会埼玉支部事業計画 教弘まなびやスーパープラン/新・教弘自動車保険
夏2019 238 (特大号)	6月13日 (55,000)	支部長挨拶 記事 募集案内	「令和」の夏休み～早めに計画を立て挑戦しよう～ 頑張れ!!給付奨学生 平成31年(2019)度新運営委員・参事のご紹介 ビッグなプレゼント 今年も開催 住まいフェア/新・教弘自動車保険
239	8月26日 (55,000)	支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	One for all, All for one ～一人はみんなのために、みんなは一人のために～ 埼玉県立和光特別支援学校 Heart to Heart ありがとう、先生！から 新・教弘自動車保険/新築・リフォーム・住宅ローン情報
240	10月10日 (55,000)	副支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	笑顔が幸せを連れてくる 入間市立藤沢小学校 紀州鉄道 提携宿泊施設のご案内 クイズ当選者発表、教弘保険の年末調整/生涯生活設計セミナー開催のご案内 新・教弘自動車保険/教弘まなびやスーパープラン
241 (研究助成特集号)	11月22日 (55,000)	支部長挨拶 学校 NOW 記事 事業紹介 募集案内	すべての特別支援学校でハートフルコンサートを実施して/～音楽の力で、笑顔いっぱい楽しい時間を、みんなで～ 埼玉県立越谷総合技術高等学校 令和元年度教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会/教育研究助成金贈呈の学校・教育研究会等 弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート 新・教弘火災保険/新・教弘自動車保険
242	1月10日 (55,000)	支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	令和最初の新春を迎えて 和光市立第二中学校 教育実践報告並びに生涯学習実践作文表彰式 頑張れ!!給付奨学生 令和2年度貸与奨学生を募集します
243	2月20日 (55,000)	副支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	2020年にあたって さいたま市立美園小学校 弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート Part II 令和2年度「教育実践報告」募集について

- |                        |    |           |
|------------------------|----|-----------|
| (2)「弘済会のご案内」           | 4月 | 24,000部発行 |
| (3)「宿泊施設の一覧」           | 4月 | 86,000部発行 |
| (4)「弘済会埼玉事業一覧」         | 4月 | 90,000部発行 |
| (5)「弘済会埼玉友の会だより」 No.63 | 4月 | 16,800部発行 |
| 「弘済会埼玉友の会だより」 No.64    | 9月 | 16,600部発行 |

## 資料 1

令和元年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿

氏 名	所 属 ・ 職 名
山本 和人	委員長 東京家政大学学長
大澤 初枝	副委員長 元さいたま市立大東小学校校長
赤松 峰親	元埼玉県立熊谷高等学校長
金田 佳子	元本庄市立北泉小学校長
野口 浩	元さいたま市立与野東中学校長
伊藤 えつ子	前埼玉県立八潮高等学校長

(順不同・敬称略)

## 資料 2

令和元年度 教育実践報告審査委員会 委員名簿

氏 名	所 属 ・ 職 名
薄井 俊二	委員長 国立大学法人 埼玉大学教育学部長
増田 正夫	副委員長 埼玉県立総合教育センター総合企画長
忍田 壽生	川島町立伊草小学校長 (埼玉県公立小学校校長会副会長)
原口 政明	熊谷市立熊谷東中学校長 (埼玉県中学校長会副会長)
竹本 淳	埼玉県立久喜高等学校長 (埼玉県高等学校長協会副会長)
三原 和弘	埼玉県立けやき特別支援学校長 (埼玉県特別支援学校長会副会長)
三橋 勝美	埼玉県教職員組合書記局員
伊藤 稔	埼玉県高等学校教職員組合専門委員

(順不同・敬称略)



### 資料 3

#### 令和元年度 生涯学習実践作文審査委員会委員

氏 名	職 等
山本 和人	委員長 東京家政大学学長
恩田 徹男	副委員長 元埼玉県教育局生涯学習部長
大磯 宏	埼玉県公立小学校校長会事務局長
渡邊 秀昭	元埼玉県立川口北高等学校長
小川 三代子	元加須市立三俣小学校長
宮内 礼子	埼玉県PTA連合会副会長
木田 一彦	埼玉県高等学校PTA連合会事務局長

(順不同・敬称略)